

- 問1 1929年にアメリカで発生した世界恐慌は日本経済にも波及し、特に農村部において深刻な社会問題を引き起こしました。当時の農村が窮乏した背景として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 鳥取県公立入試 類似）
1. 第四次中東戦争による石油価格の高騰を受け、肥料や農業機械の燃料代が急騰し、農業経営を継続することが困難になった。
 2. 主要な輸出先であったアメリカへの生糸の輸出が激減し、さらに米などの農産物価格が暴落したため、農家の収入が大きく落ち込んだ。
 3. 第一次世界大戦による軍需品の需要がなくなったことで、成金と呼ばれる新興資本家が没落し、農産物の消費が著しく減少した。
 4. 朝鮮戦争に伴う特需が終了したことでデフレが発生し、政府が農村への補助金を打ち切ったため、農作物の生産コストが販売価格を上回った。
- 問2 1919年のパリ講和会議での合意に基づき、1920年に発足した史上初の国際平和機構の名称として正しいものを選択してください。この組織は、加盟国の主権を尊重し、領土保全を相互に保障することを通して、世界の平和と安全を守ることを目的としていました。（2023年 石川県公立入試 類似）
1. 国際連盟
 2. 国際連合
 3. 万国平和会議
 4. 国際労働機関
- 問3 ニューディール政策で行われた「公共事業」が、経済を回復させるためにどのような役割を果たすことを期待されていたか、その仕組みとして最も適切な説明はどれか。（2020年 三重県公立入試 類似）
1. 政府が直接労働者を雇って給与を支払うことで、人々の購買力を高め、物への需要を増やして生産活動を刺激する。
 2. 政府が特定の企業に独占権を与えることで、企業の利益を最大化させ、その利益が労働者に分配されるのを待つ。
 3. 政府が全ての農地を強制的に買い上げ、輸出専用の作物を栽培させることで外貨を稼ぎ、債務を返済する。
 4. 政府が通貨の発行を停止して物価を下げることで、国民が少ない賃金でも生活できるように調整する。
- 問4 1945年8月、日本がポツダム宣言を受諾して降伏する直前の緊迫した状況について、時系列として正しい記述はどれですか。（2025年 神奈川県公立入試 類似）
1. 真珠湾攻撃が行われる直前に、ソ連が日ソ中立条約を破って参戦した
 2. ソ連が満州へ侵攻を開始したあと、広島に原子爆弾が投下され、東京大空襲が起きた
 3. 広島への原子爆弾投下のあと、ソ連の参戦が起こり、その後にポツダム宣言を受諾した
 4. ポツダム宣言を即座に受諾したあと、広島と長崎への原子爆弾投下が行われた
- 問5 1931年に発生した満州事変を調査するために国際連盟が派遣したリットン調査団は、日本の軍事行動を自衛とは認めず、満州国の承認を否定する報告書を提出しました。この報告書が国際連盟の総会で採択されたことを受け、日本が1933年に行った行動として適切なものはどれですか。（2016年 富山県公立入試 類似）
1. 満州国を解体し、軍を撤退させた
 2. 日中戦争の停戦合意に署名した
 3. 国際連盟からの脱退を宣言した
 4. 国際連合への加盟を申請した
- 問6 1928年から1934年にかけて、アメリカやドイツなどの主要な資本主義諸国が工業生産を約3割から5割近く減少させたのに対し、ソビエト社会主義共和国連邦が生産を伸ばし続けることができた理由として最も適切な説明はどれか。（2018年 長崎県公立入試 類似）
1. ニューディール政策をいち早く導入し、大規模な公共事業によって国内の購買力を高めたため。
 2. 五カ年計画に基づく計画経済を推進しており、資本主義経済の混乱から切り離されていたため。
 3. 第一次世界大戦の戦勝国として多額の賠償金を得ており、それを工業投資の資金に充てられたため。
 4. 広大な植民地との間でブロック経済を構築し、域内の資源と市場を独占できたため。
- 問7 1944年から本格化した、都市部への空襲による被害を避けるために、小学生らが親元を離れて農村部の寺院や旅館などへ集団で移り住んだ政策を何といいますか。また、その主な目的として正しい説明を選択してください。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
1. 勤労動員 ― 空襲による人手不足を補うため、子供たちを農村の労働力として活用すること
 2. 兵役義務 ― 都市部での戦いに備え、子供たちに農村で高度な軍事訓練を受けさせること
 3. 国民義勇隊 ― 空襲で破壊された都市を復興させるため、子供たちを安全な場所に待機させること
 4. 学童疎開 ― 空襲を回避して将来の国民となる子供たちの命を守り、次世代を維持すること
- 問8 明治時代から昭和初期にかけての富山県の産業の展開について述べた文として、適切なものはどれですか。富山売薬の海外進出や、1930年代のエネルギー供給に関する統計情報を踏まえて選んでください。（2019年 富山県公立入試 類似）
1. 明治以降、伝統産業である富山売薬は急速に衰退したが、代わりに大規模な石炭採掘が行われ、火力発電によって工業都市としての地位を確立した。
 2. 富山売薬は国内向けの配置薬販売のみに特化し続けていたが、1930年代には輸入石油を用いた火力発電によって総発電量が全国1位を記録した。
 3. 富山売薬の販路はヨーロッパ諸国に限定されていたが、1930年代には日本初となる原子力発電所の稼働によって、全国一の発電量を誇るようになった。
 4. 日露戦争後からハワイやタイ、中国などへ販路を拡大した富山売薬や、豊富な水資源を背景とした水力発電が、近代における工業化の基盤となった。
- 問9 1930年代から1940年代にかけての日本の歴史的経過について、出来事の発生時期が古いものから順に正しく並んでいるものはどれか。（2017年 山形県公立入試 類似）
1. 満州事変の発生 → 学徒出陣の実施 → 国家総動員法の制定 → ポツダム宣言の受諾
 2. 国家総動員法の制定 → 学徒出陣の実施 → 満州事変の発生 → ポツダム宣言の受諾
 3. 国家総動員法の制定 → 満州事変の発生 → 学徒出陣の実施 → ポツダム宣言の受諾
 4. 満州事変の発生 → 国家総動員法の制定 → 学徒出陣の実施 → ポツダム宣言の受諾
- 問10 第一次世界大戦の終結後から第二次世界大戦が始まるまでの国際情勢について、次の出来事を年代の古い順に並べたものとして正しいものはどれか。（2025年 青森県公立入試 類似）
1. ニューディール政策 → ドイツのポーランド侵攻 → ワシントン会議
 2. ワシントン会議 → ニューディール政策 → ドイツのポーランド侵攻
 3. ニューディール政策 → ワシントン会議 → ドイツのポーランド侵攻
 4. ワシントン会議 → ドイツのポーランド侵攻 → ニューディール政策
- 問11 第二次世界大戦中の日本では、戦地へ赴く男性兵士の数が1937年の100万人未満から1945年には約7倍の700万人近くにまで増加しました。この影響で実施された「学徒動員」に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2019年 徳島県公立入試 類似）
1. 高度な技術を習得させるため、海外の同盟国へ留学が奨励された。
 2. 学生や生徒が授業を中断し、軍需工場などで労働に従事した。
 3. 戦時下の精神を鍛えるため、全国の学生が寺院や神社に住み込みで修行した。
 4. 若者の失業を防ぐため、公共事業への就職が優先的に割り当てられた。